

課題になっている行動 (気になる行動)

**周囲の状況に気づけず
自分だけ時間になったので
先に終わってしまう**

さ

時間になったので
さぼってません
終わっただけ



監修・文 水野敦之 絵：宗貞由貴

環境・状況の要因	本人の特性	本人の経験や気づきの影響
<ul style="list-style-type: none"> ■ 様々な状況の変化 周囲の状況の変化 (本人が気づいていない) ■ 影響を与える刺激や情報 指示が曖昧である 幅の無い指示 ■ 必要な支援がない 周囲の状況にあった時間・スケジュールの提示がされていない。 字義通りに解釈する特性にあわせた情報提供がない ■ その他 本人の特性についての周囲が理解していない 本人の特性にあわせた終わり方の設定がない 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 受容コミュニケーションの特性：字義通りの解釈 (時間通りに終わる) ■ 社会性・対人関係の特性：状況を読み取ることの困難さ ■ 時間の整理統合の困難さ：状況から終わりや見通しを考察する ■ 想像思考の困難さ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 習慣になっているものがある 時計の数字を見て休憩するのが習慣になっている ■ 自分流の気づき・考え方をもつ 指示された時間になったので終わっているだけ ■ 過去に経験したこと学んだこと 時間は正確に守りなさいの教え <p><input type="checkbox"/> 過去に経験したことにより恐怖や嫌悪感をもっていること</p>
<ul style="list-style-type: none"> ■ 行動前の状況※ 時計が指示された時間になった状況にあわせた指示、本人の特性に合わせ指示や設定がない 		<ul style="list-style-type: none"> ■ 行動後の状況・結果※ 周囲から注意をうける 周囲から問題視される

活用できる他の資源	活用できる本人のスキル	活用できる本人の気づき
1対1の相談の時間が定期的にある スケジュールを活用している	文章、絵、図解、表の理解	時間は守りたいと思っている 周囲から認めてもらいたいとおもっている

支援計画 ※支援の具体的な計画は自立課題シートで整理する方法もあります		
環境を変える部分は？	本人の特性にあわせた支援は？	本人に伝える・教える部分は？
<ul style="list-style-type: none"> ・本人の特性にあわせた終わり方の設定 (例えば、時間になって3つのパターンの仕事をしたら、周囲が終わってなくても終わり) ・周囲の理解を進める 	<ul style="list-style-type: none"> ・終わりの仕方について、文章や図などで指示する。 ・終わりの仕方にあわせて、スケジュールの記入を調整する ・状況によって「時間になったら終わり」を容認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の場面ごとの終わり方とその変化 (理由と対応方法) ・職場 (学校) での終わりの仕方

解説と支援の方向性について

時間ピッタリに休憩にはいらぬ職場があります。しばらく後片付けなどして、なんとなく雰囲気です。その雰囲気がわからず時間ピッタリに終わると、周囲には「自分だけ休憩に入ってる」「さぼってる」「態度がわるい」となるのです。そのなんとなくの雰囲気が自閉症の人には難しいのです。社会的な状況を伝えたり、周囲の状況にあわせた休憩の移り方の指示を提示する必要があります。